

二〇一九年度  
【博士後期課程】

早稲田大学大学院文学研究科  
一般外国語 日本語

入学試験問題  
※解答は別紙（縦書）

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(鈴木大拙「東洋思想の不二性」(一九六二)による)

朕兆……兆候。きざし。  
対境……対象。  
五官……視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚。  
用処……用いどころ。使いみち。  
畢竟するに……考えを最後までおしすすめてみると。結論するに。  
八識……眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識、末那識、阿頼耶識の総称。  
究竟体……物事をきわめて、究極に達したところのもの。最高のもの。  
妙処……非常にすぐれたところ  
対蹠……全く反対の関係にあること。ある物事と正反対であること。  
あんばい……物事のぐあい。ほどよく調節すること。  
乱麻……乱れもつれた麻糸。

問一 1 4 の片仮名を漢字で所定の解答欄に記せ。

問二 5 8 の漢字の読みを平仮名で所定の解答欄に記せ。

問三 傍線部(1)「口ぐせ」、(2)「腰をすえ(る)」、(3)「間のぬけた(間がぬける)」、(4)「割り切る」、(5)「手の(が)つけられぬ」のそれぞれの意味として、もっとも適切なものを次のア～コの中から一つ選び、その記号を所定の解答欄に記せ。ただし同じ記号を二度以上用いてはならない。

- ア 空いた時間をもてあますこと。
- イ いつでも同じことを言うこと。
- ウ ほどこすべき方法がないこと。
- エ きっぱりと結論を求めること。
- オ 取扱いに困って、もてあますこと。
- カ 物事にむかう姿勢がくずれること。
- キ 肝心なところに抜かりのあること。
- ク いくつかに切り分けて配分すること。
- ケ 口先でうまい言いまわしをすること。
- コ 落ち着いてものごとに対処すること。

問四 空欄 X に入るもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号を所定の解答欄に記せ。

- ア うきうき
- イ きりぎり
- ウ ときどき
- エ ま(ま)ま(ま)
- オ ゆらゆら

問五 空欄 Y に入るもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号を所定の解答欄に記せ。

- ア こうして
- イ それでも
- ウ たとえば
- エ ところで
- オ もしくは

問六 空欄 Z に入るもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号を所定の解答欄に記せ。

- ア ともかく
- イ なるべく
- ウ はなはだ
- エ ほとんど
- オ もちろん

問七 二重傍線部(A)「知らずに知っている」とはどのようなことか。次のア～エの中からもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を所定の解答欄に記入せよ。

- ア 主客分裂以後の「考え」を意識していながら、知性としては認識してはいないということ。
- イ 主客分裂以前の「考え」であることを意識しないまま、感覚として知っているとということ。
- ウ 二分性によって考えていることを意識することなしに、知性として知っているとということ。
- エ 二分性の考え方に立脚していると意識しながら、そのことを明確には認識していないこと。

問八 二重傍線部(B)「きちん」とする」とはどのようなことか。次のア、エの中から適切でないものを一つ選んで、その記号を所定の解答欄に記入せよ。

- ア 機械的性格をさらに身につけること。
- イ 数学的計算ができるようになること。
- ウ 科学的二分性に基づいて考えること。
- エ 東洋的無意識の感覚を心にもつこと。

問九 二重傍線部(C)「これから脱離不可能だ」とある「これ」とは何を指しているか。本文中からもっとも適切な箇所を抜き出して、本文にあるとおりに所定の解答欄に記入せよ。(五字以内、句読点などがあれば、それも一字に数える)

問十 二重傍線部(D)「いやが上に紛糾する」とはどのようなことか。次のア、エの中からもっとも適切なものを一つ選んで、所定の解答欄に記入せよ。

- ア それでなくても紛糾しているのに、そのうえますます紛糾するということ。
- イ 拒絶しているにもかかわらず、無理に押し付けられて紛糾するということ。
- ウ いつにまでも事態が収束することなく、とめどもなく紛糾するということ。
- エ これまで紛糾してきたのと同じく、これからも事態が紛糾するということ。

問十一 問題文中においてキリスト教の短所とされる性格とはどのようなものか。本文中からもっとも適切な箇所を抜き出して、本文にあるとおりに所定の解答欄に記入せよ。(十字以内、句読点などがあれば、それも一字に数える)

問十二 東洋文化と西洋文化の違いについて、これまでの経験から感じたことを簡潔に所定の解答欄に記せ。(二百字以内、句読点なども一字に数える)

(以下余白)

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

———ここから記入すること———

問十 D	問七 A	問四 X	問三 1	問二 5	問一 1
問十一	問八 B	問五 Y	2	り	2
	問九 C	問六 Z	3	6	3
				み	
			4	7	4
			5	8	

一般外国語  
日本語

総点

--

